



第13号

発行所 香川自治会 広報委員会

防犯灯増設などを協議 五月の定例役員会で

五月七日(金)午後七時半から 公民館で役員会が開かれた。

議事は、(1)防犯灯の増設 (2)美化運動実施 (3)赤十字募金運動についてであった。

先づ顧問の亀井隆義氏の挨拶があり、「住民の御支援を得て再び議員となれたことに対して厚く御礼申しあげるとともに、香川発展のためにできるだけの努力をするつもりなので、私にできることは、どんなことでもしたい」と語られた。

次に協議に入り、各町内会長から防犯灯の増設箇所について要望があった。

- (1)防犯灯設置について (原) 甘沼線562番地と417番地の所。田中文房具店から甘沼へ行く所の西裏にほしい。 (2) 高木薬局から間門に行く所にある電柱が古くてグラグラしてあるので交換してほしい。 (3) 東邦チタニウム独身寮入口の所が暗いので新設してほしい。 (4) 間門線から西へ入る所の、新倉誠志氏附近と、西村弘義氏前。

なお駅前安全確保について、市当局に話したところ、早速調査に來られ、

(1)交通事故防止のため、横断歩道を設ける。 (2)徐行するよう速度制限し、標識をつける。 (3)高さ4mの水銀灯をつけて、明るくする。 (4)ガードレールを設け、安全策を講ずる。

(2)美化運動について 駅前の舗装にともなって、新たに道沿いに狭いコーナアが出來たが、そこに草木を植え花壇とし明るく美しい街にする。単に駅前だけでなく香川全体の美化をはかるよう各位の協力が望まれている。

ゴミの出し方、ガラタの出し方など、広報がさがきに掲載されていることを実行し、一人一人が清掃員になったつもりで、細かいところに神経をつかい、思いやりのあるあたたかい気持ちをもって住みよき香川にするよう更に努めることが望まれている。

(3)赤十字募金について 四月三十日(金)に市役所福祉課の招請で松林地区の自治会長が集まって赤十字募金について協議した。目標額は別表の通りだが、新入社員は300円とる点が去年と違う点である。茅ヶ崎市の目標は222万5千円まで集めることとが決定した。なお、領収書は自治会役員が特別奉仕して分業で作成した。

昭和46年度 日本赤十字社社員増強(募金)運動目標額

Table with columns: 地区, 町内会, 地区会計, 目標額 (人員, 金額), 前年実績 (人員, 金額). Includes summary for 香川地区 and 茅ヶ崎市.

自治会費徴収日きまる

今年度の自治会費の徴収は左の通り決定した。自治会運営並びに地区発展のためにも、全員が加入して会費を完納することが望まれている。

- (1)自治会費(月額100円) 4/6月分 5月15日 7/9月分 7月15日 10/12月分 10月31日 11/3月分 11月31日 (2)衛生費(年額200円) 第1回(100円) 5月15日 第2回(100円) 7月15日

「香川の人口は五七七一七人」 字別では第一位を占める

このほど四月一日現在の茅ヶ崎市の人口と世帯数が、市長公室広報課統計係によって明らかにされた。市全体の世帯数は三六、二四一、総人口は一三一、五〇四(男六、九六八・女六五、五四六)。

Population and household statistics table with columns: 字別, 世帯数, 総人口, 男, 女. Lists various districts like 町丘, 口が, etc.

「東急が香川の要求をのむ」 団地内の汚水の放流問題

香川東部と甘沼・北根に東急が四万坪の団地を作ることが決定してから、団地内の汚水をどう処理するかについて、前年度から自治会では善処を望んで交渉して来たが、このほど要求がききとどけられたことが明らかにされた。

これは、昭和四十五年国勢調査人口(概数)を基準とし、毎月の自然動態・社会動態を「人口異動月報」により集計し、加算したものである。



自治会バス旅行の計画を

地域住民の職種が、きわめて多岐にわたっているが、一度よい時期に日帰りのバス旅行をレクリエーションとして試みては如何。(主催は自治会、文化厚生部など。)

積立貯金をして年一回バス旅行でもすれば、会員の親睦にもなり、楽しいレクリエーションにもなると思ひます。会員も割引で旅行

「紙上アンケート」 バス旅行について

声欄に掲載したように、バス旅行を望む意見があったので、紙上アンケートを行なうことにしました。新聞のアンケート欄に記入の上、お手数でも切りとって組長宅にお届下さい。アンケート回収要項は次のとおりです。

- 1. 組長宅に届ける(六月六日切) 2. 町内会長宅に届ける(六月七日切) 3. 広報委員長宅に届ける(六月八日切)

- ①レクリエーションとして、日帰りのバス旅行を希望しますか? 1. する 2. しない 3. 不明 ②時期は? 何月? 1. 春 2. 夏 3. 秋 4. 冬 5. 希望の月 ③方面 1. 大山 2. 富士五湖 3. 伊豆 4. 三浦半島 5. 日本平 6. ぶどう狩り 7. みかん狩り 8. 潮干狩り等 希望地 ()

「註」 新聞をお読みになったら、すぐアンケートに記入し、組長宅にお届下さい。時日がありませぬので、お手数でも要項通りお願ひします。

町ぐるみ美化運動を!

原 平田 啓治

新緑の五月、風もさわやかに草木の若葉も鮮やかに、そここの家の花壇も美しく手入れされ、通りすがりの目を惹きつけてくれます。

しかしその目を道端に転ずると無責任に放置されているゴミの山を見るでしょう。

香川地区内で特に目立つ場所は(1)市営住宅東側の香川小北門通学路横の山林(原)

(2)諏訪神社西側の山ぎわ(東)

(3)古谷鉄雄氏宅前の三叉路のゴミ収集場所(中通り)

(4)聖恵幼児園北の空地(中通り)原を除いて三カ所は、いずれもゴミの収集場所です。ゴミ及びガラクタの収集日以外に運んでくる人がいるのが原因のようです。

現代は消費経済といわれ、オートメーションから生みだされた使い捨て商品の処理について、私たちは考へて行かなければいけないと思ひます。生活から生じる多量のゴミを、自分の家をきれいにするといふ理由で無責任に放置したり捨てたらどうなるでしょう。たちまちゴミの山となることは当然です。このような利己的な考え方が戦後の社会教育の欠陥といわれます。

フランスのパリでは、じゅうたんの掃除をする時は、場所と時刻がきまつていて、ゴミで近所が汚れないようにお互にきびしく注意しあっているそうです。

このように個人の生活の美化のために他人へ迷惑をかけることはたいへんいけないことだとされていきます。ところが日本ではどうでしょう。生木垣根を刈りこめば刈りこばなしで道に放置し、片附ければ手頃な場所へ投げ捨てるなど、社会環境を汚している人が多いという事です。

香川地区内の現状をみて、私たちはお互にもっと社会環境を考へる必要があると思ひます。ゴミ収集場所に散乱しているゴミをそのままにしておいてよいかどうか、考えればわかることだと

思いいます。通りを歩きながらも、紙屑を捨てたり、煙草の吸いがらを投げ捨てるなど、汚ないようには、汚ない所を見たら気がついた人が片づけるような、細かい心づかいを持ちたいものです。町ぐるみで美化運動を推進する姿勢がほしいものです。

美化運動は日常のほんの少しの行為から発展するものです。地域の方々の理解と協力が得られてこそ本当の美しい香川となることでしょう。

香川小学校裏、原の5組附近の山には「一寸待て、人の迷惑考へよう」という自治会の美化運動推進の立て看板があるにもかかわらず、いつもゴミやガラクタが雑然とすてられ、ゴミの山となつてい

ゴミ焼き奉仕を続ける 小学校近くの御老人が

香川小学校裏、原の5組附近の山には「一寸待て、人の迷惑考へよう」という自治会の美化運動推進の立て看板があるにもかかわらず、いつもゴミやガラクタが雑然とすてられ、ゴミの山となつてい

このゴミを黙々としていつでも掃除し焼いて始まつておられる奇特な御老人がおられる。六十五、六才の方でお名前をお

理屈に合わない話

相模線は周知のごとく赤字線である。何でも百円の利益をあげるのに二百数十円かかること。これでは香川駅にとまる列車の本数も少なく、職員も一、二名しかいないのも無理はない。

それだけでなく莫大な赤字を抱える国鉄のこと、収入が少くないのに、多くの職員を配置したり、電化、複線化したりするわけがない。一方東海道本線や新幹線が国鉄のドル箱と言われ、今後ますます輸送力増強が計画されているのは、沿線に「切符を買って乗るお客が多い」からに相違ない。

たずねしてもおっしゃらず「あまり汚ないので、みかねてやっているだけです。」と答へられた。この善意の奉仕をそのままにしておけず、ここに御紹介した次第である。



お願い

今年度の自治会名簿が先日発行されたが、一年間に会員の異動もかなりあり、名簿作成にも関係者はいへん苦勞された。そこで異動のあり次第組長は指定用紙に正確に記入して近くの評議員宅に届けて下さるよう本部では望んでいる。配布物部数確保にも是非協力してほしい。

香川駅で買いにくい切符は、ほかに、回数券、往復切符があげられる。要するに近距離の片道切符しか買えないのが現状である。余談であるが、この駅員の不親切のおかげで、私はおもしろいことを発見した。香川から大阪まで行くのに、香川から通して買うと一五〇円であるが、茅ヶ崎で一五〇円、茅ヶ崎一三〇円、茅ヶ崎一三〇円、茅ヶ崎一三〇円、計三〇〇円で結局茅ヶ崎で降りたほうが六〇円安くなるという事である。

しかし、どうしても納得のいかないことがある。それは香川駅では、新幹線や、長距離指定席の切符が買えない(少なくとも買にくい)という事である。このように切符は、国鉄自慢の「みどりの窓口」へ行けば簡単に買えるのであるが、逆に「みどりの窓口」でなければ買えない。とは国鉄の規則のどこを見ても書いてない。乗る列車が始発駅で発売する七日前の九時から各駅で発売する「こ」となっている筈である。

私は、昨年何回か旅行したが、その際、相模線の赤字を少しでも

解消すべく香川駅で新幹線の切符を買おうとしたが、「ここではたへんだから茅ヶ崎へ行つて買おうよ」と言われた。シーズンオフでもあったし、香川駅に列車が到着するまでは大分時間がある。ひまな時を選んで行つたつもりだし、時間がかかるのを覚悟で行つたのにこの返事である。まったくとりつく島もないとはこの事だと思つた。このような思いをしたのは私一人だろうか。

駅員が一人で忙しいこともわかるが、どうも割り切れない。定期外運賃(定期乗車券以外の運賃)が一日五万円以上でなければ駅員が増員されないという話を聞いたことがある。それが本当だとすると、駅員をふやして、自由にどこまででも、どんな切符でも買える香川駅にするためには、香川駅での運賃収入を増やさねばならない。だから香川の人は皆、香川駅で切符を買えば良いのである。この当り前のことを駅員が断わるというのが私にはわからないのである。

なお、香川駅で買いにくい切符は、ほかに、回数券、往復切符があげられる。要するに近距離の片道切符しか買えないのが現状である。余談であるが、この駅員の不親切のおかげで、私はおもしろいことを発見した。香川から大阪まで行くのに、香川から通して買うと一五〇円であるが、茅ヶ崎で一五〇円、茅ヶ崎一三〇円、茅ヶ崎一三〇円、茅ヶ崎一三〇円、計三〇〇円で結局茅ヶ崎で降りたほうが六〇円安くなるという事である。

四月二十九日(木)午前二時半頃、東の加藤直義氏住居が全焼した。家族そろって伊豆に出かけ留守だったので、家財道具は何ひとつ持ち出せず、たいへんお気の毒だった。

消防団員の方が消火にあたり、検証の済んだ後、隣組の方とともに灰かきもなされ、団員の方の車で焼けた木材を運搬して片づけるなど、機敏な処置は住民に感謝された。

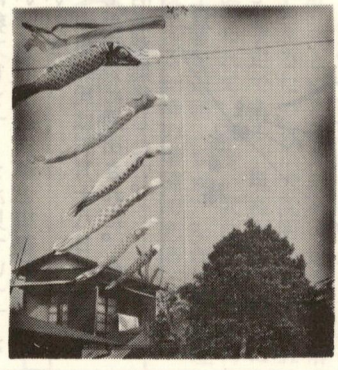
自治会から加藤氏に対して見舞金一封が渡され、役員会で協議の結果、再び香川に住まれるまで自治会費を徴収しないことになりました。

香川地区の防犯灯はわれわれの努力が実って年々増設され現在既に184灯を数え、数年前に比べると街もかなり明るくなってきた。この施設工事は市費で行われ電気料は今年から九割を市が負担

する。しかし故障修理はすべて自治会負担が建前で、灯数増加に伴って維持管理に要する支出も多額となつてきた。ところであちこち故障のままの所がある。暗いと不便だし電気料だけは払わねばならないので近所の方が注意して管理して下さい。故障や電球交換は気づいた人が場所と所属組名を香川電機(八二一六六四)に御連絡下さい。みんなの施設なので維持管理に御協力をお願いします。

鯉は五月五日の端午の節句に男児の健康と出世を祈つて立てる外飾り。江戸時代に菖蒲(尚武)の節句として武家階級では家紋をのしるした旗指物や、のぼりなどを玄関前に並べたが、これに對抗して江戸中期以後町人が武具の代りに五月の青空を水にみたてて鯉幟を立てたのに始まる。

加藤氏宅全焼



四月二十九日(木)午前二時半頃、東の加藤直義氏住居が全焼した。家族そろって伊豆に出かけ留守だったので、家財道具は何ひとつ持ち出せず、たいへんお気の毒だった。

消防団員の方が消火にあたり、検証の済んだ後、隣組の方とともに灰かきもなされ、団員の方の車で焼けた木材を運搬して片づけるなど、機敏な処置は住民に感謝された。

た。(現在奥様の実家のある伊豆に身を寄せておられる)また真黒になつて焼けた材木を自分の車で運んで奉仕された団員の方に対して、御苦勞を謝しガソリン代として金一封を贈ることが役員会で決定した。

三月末現在の自治会名簿が五月八日に刊行され各戸に配布された。原簿と照合しできるだけ正確な期して作成されたが次の方が誤つていたのでおわびして訂正いたします。

新規電話加入者に

- | | | |
|-----|------|----|
| 東1 | 富樫純弥 | 富樫 |
| 東2 | 岩国鉄男 | 岩口 |
| 東3 | 原 綱枝 | 網江 |
| 東4 | 古屋金枝 | 古谷 |
| 東5 | 石島一男 | 石嶋 |
| 東6 | 石島一男 | 石嶋 |
| 東7 | 石島一男 | 石嶋 |
| 東8 | 石島一男 | 石嶋 |
| 東9 | 石島一男 | 石嶋 |
| 東10 | 石島一男 | 石嶋 |

最近電話のひけた家で電話番号簿のひけた家へ、香川地区だけにでも周知させたいと思ひの方がありましたら、次号香川ニュースに掲載しますので左記要領により、六月五日までに御連絡下さい。(公社の新しい電話番号簿は秋になります。)

計報

香川二五一(原・七組) 松居 正吉氏(六〇才)には、四月二十日逝去されました。謹んでご冥福を祈ります。

Interview

「世論政治」を基本に 公約実現に努力する

市議 亀井隆義氏に聞く

五月三日、市会議員の亀井隆義氏にインタビューし、今後の展望と抱負について、広報委員と一問一答を試みた。次にそのあらましを掲げる。

☆今後の香川の展望は？
昨年六月香川の大半が都市計画法で市街化区域に指定され、駅の周辺は商業地域、その他は住居地域に指定されました。このことはかつて農業の生産基地としての役割をなってきた有史以来の集落的環境を人為的に変えて、「十年以内に優先的且つ計画的に市街化を図るべき区域」とされたことにより昭和五十五年頃までに都市化の一途を進むことになりました。そうした中であって香川も相模川流域下水道計画区域に入っている。どの市道にも排水管渠が敷設され、家庭污水・営業汚水などを放流できるようにする。環境衛生は満足できる状態になりました。在来の農家七十戸も現在専業農家十五戸という激減ぶりですが十年後は更に縮小されてゆく運命にあります。だからといって都市近郊農業を軽視するわけには行かない。集約された形の作目の転換や高級園芸などに活路を見出してゆくなど、高度な経営技術が活かされねばならないでしょう。そして農地や山林の縮小も入替って香川が甘沼の境に東急分譲住宅(540戸)ができ、香川下寺尾の水田約三万七千坪には相鉄の開発による住宅団地が出現します。又東海岸寒川線が12m幅員で開通します。相鉄新線計画は現在二俣川、和泉町間を着工中ですが数年後には香川駅で立体交差して平塚駅南口に向う計画も具体化してゆく。近代駅舎や広場、そしてその周辺には第三次産業の集中が予測され、「第二の都心香川」に変貌してゆく

に驚き当局にその是正を強く要望してききました。徐々に市の配慮もされるようになりつつあります。簡易舗装もあと二、三年で大部分の公道が整備され、下水も公共下水道計画に合わせて進められつつあります。今後更にこれを促進するには間断なく住民の意志を当局に伝え算定してゆくことが必要ですが、こうした仕事は役所側からみるとキメの細かいものなので、そこで住民の意志が結集される自治会にそうした要望や不満などを集めて迅速にその措置を求めざるべきです。この場合住民の願意を適確に表現し施工箇所を明示し予算化の適期に提出するなど対応する姿勢が必要だと思えます。

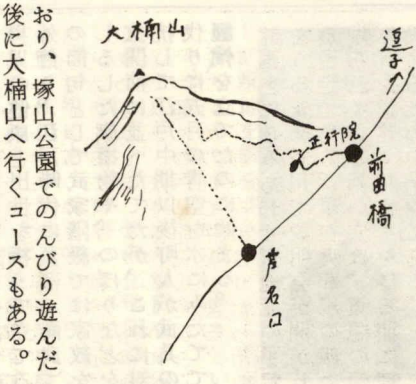
☆暗い所に防犯灯がほしい
当然です。今年度から市は自治会に90%の電灯料の補助をすることになりました。白熱灯を蛍光灯にかえることも必要です。点滅の責任を当番制にして故障箇所のないようにしたいものです。

☆三浦半島の中央高地は、大楠山を中心に、北に二子・鷹取山、南に武山の各丘陵があるが、今回は大楠山を御紹介します。この山の最高峰は二四二mで山頂にはビューハウスがある。



大楠山ハイキングコース
家族むきの行楽地
原 城田 恵司

頂からは相模湾、東京湾、房総半島、鎌倉の山々を一望におさめることができ、まことに雄大な風景である。山というよりは丘陵で、家族づれには絶好の所であり、山頂にはビューハウスがある。



いよいよしたいものです。暗い所は住民が眼で確かめて自治会を通じて市に要望しましょう。☆子供のための広場は予約制のようにしてほしいとい声があります。教委に訊ねたら予約制はとらぬそうす。場所は聖恵幼稚園東の空地で地元地主さん二人の御厚意で三年間無償で提供して頂いたものです。周囲にフェンスを張り住宅側は高さ三mにして迷惑のからぬように考えられています。遊具はブランコ、すべり台、日除けテント、憩いのベンチもありました。近く着工し七月二十日には使えるようになります。

☆公約をどのように進めてゆくか
世論政治——住民との対話の中から生れたものを政治課題としての確速に切りあげ、住民サイドにたつて解決してゆくのが基本的な政治姿勢です。香川周辺地区がよくないといっている。市の財政が公平有効に使われているか監視し、市の行政のあり方に対して今後とも批判・指摘もします。最近盛んになってきた住民パワリの一部にはマイホーム的視野の利己的な考え方もあるようです。新湘南国道問題(バイパス)、駅周辺の再開発、立体交差の問題など難問と行財政需要が迫っているがわたくしは「寛容」と「忍耐」を信条として公約を実現するため努力します。まあ見ていて下さい。そして御指導と御鞭撻を願います。

☆五月投句抄
香川俳壇
茅花会

長島久江
山吹の蔭にも一人かくれんぼ
鳥雲に鍵つき高く石をける
蛙なく野道を馳けるランドセル
草野球ほどよき広場夏近し
移民船静かに離港春の海
渡し舟岸離れけり糸柳
高杉一枝
花の香に人なつかしき春の夜
花冷えにあご沈めけるしまい風呂
母の日に事よせ今日の小旅行
山吹や登り口なる道しるべ
石垣の掃除すみれを残しけり
賤が家も今は桜に彩られ
齊藤ハツ
押花の色よあせるな北への便り
ためらわず花苗求む雨の道
柳田ふじ子
ハイキング山吹見えて声あがる
山吹の老婆健やか里の家
藤村球子
夜桜や黒犬らしき闇動く
さえずりや熱の目で読む旅便り
井上喜枝
羽ばたいて子雀飛び行く小さき巢
なをざりの庭に山吹咲きこぼる
亀井とみ
市議選とさお竹売りや若葉風
親孝行な娘も母の日を迎え
大胡悦子
母の日や母なき子等の白い花
すこやかな孫の寝顔や花菖蒲
亀井湘南
道邊の歌道伝えて山吹野
年毎に雀巢籠る納屋庵
つれづれに摘みし土筆を捨て惜しむ
親とする竹の子に縄結びけり
杏沢みや
山吹の壺に溢れて参観日
届く荷を解くもどかしさ母の日に

原稿を募集
広報委員会では多勢の方の原稿を募集します。毎月七日までによりの広報委員にお届下さい。